

泥を使った造形ワークショップ

名古屋短期大学 教授 高田 吉朗



1 岐阜県美術館での「どろんこあーと」

美術館の活動のなかには教育普及があり、子ども対象のワークショップが開催されることは珍しいことではない。岐阜県美術館から依頼を受けてワークショップを最初に行ったのは2003年であった。その後、美術館の会場以外にも活動は20回を超える。私は日ごろ主に、木、和紙、土、陶といった素材を使用して立体作品を制作しているが、それらに関連するところで子ども達と何が出来るかが最初の課題となった。既に和紙や木の枝を使ったものは行われていたので、必然的に土か陶ということになり、限られた時間内で作品化できるものとして直接土を扱う「どろんこ」による作品づくりとなった。子どもにとって手を動かして可塑性と粘着性のある土を使って直接表現することは造形の醍醐味がある。土とひとことで言っても色や粒子も様々で、焼成しなくても身近な土に木工ボンドを混ぜることで紙に泥で描くことも、それら泥の付いた紙を使ってコラージュしたり立体作品で表現したりすることも出来る。



<色々な土に木工ボンドを混ぜた素材>



<画用紙に泥を付ける活動>

午前中に作った泥の付いた紙を主な素材として、昼の休憩時間に乾燥させて午後からコラージュや立体作品を制作していく。



<泥の付いた様々な画用紙>



<泥の紙ですみかを作る>



<泥の紙のコラージュ>

2 「土をチョークにして描こう」

これまでのどろんこアートでは様々な色の粘土を使用したけど、それらの粘土はビニール袋などでしっかりと覆わない限り乾燥して塊と化す。その固まった粘土をチョークのように描く用具として展開した。はじめに野外で落ち葉や小枝や小石などの凸凹のある自然素材を収集し、室内に戻って指定された帯状の場所にランダムに並べ、次に全て覆うようにロール状の紙をかぶせた。紙の上から下にある自然物を確かめながら固まった土で擦り出していく。フロッタージュによって様々な模様が出来た大きな紙の好きな部分を各自で切り取り、接着剤で台紙に貼り付ける。そこに少しだけグレーのクレパスで描き加え、最後はフィクサチーフで定着させ作品を完成させた。



<固まった粘土で擦り出す>



<貼り付けた紙にクレパスで描く>

3 土は様々な画材に変わる

土に加える木工ボンドの水分を多くすることによって、粘土のような粘着性のある素材から、絵の具のような描画材料にまで様々な展開が考えられる。水分を多くして筆で描くことや、鍋の中で土に蠟を混ぜて熱することで液状のものをつくり、筒状の紙に流し込んで土のクレヨンを作り描くというワークショップも行った。



<土の絵の具で描く>



<土のクレヨンづくり>

4 泥による表現の可能性

言うまでもなく土は身近な自然素材であり、土の色、素材感に優るものは無い。どろんこを使うことは私たちの住んでいる地球の一部を素材にして、時間や空間を超えたスケールの表現が可能である。泥のワークショップを行う時は出来るだけ粘土状に製品化されたものでなく、各自で身近な土を持ち寄ってもらうように心掛けている。また粉末状のものをシートの上に広げて適量の水を混ぜながら粘土状になっていく姿を子どもと一緒に体感する。夏に行われたアートキャンプの企画の際は作業後に水で流せる様に水着に着替えてから行った。

美術館では企画展覧会と連動してのワークショップが展開されることが多いがオーストラリアの先住民アボリジニの世界を展示する企画展のなかで開催された際、泥でドットをつける「どろんこ・どろ泥・ドット混む」というワークショップを行った。



<たんぽに泥をつけてドットをつける>



<ワークショップの様子>

5 今後の展開と課題

「どろんこアート」というワークショップを通し、子ども達に自然素材によるスケールの大きい自由な表現の重要性を提案してきた。美術館でのワークショップは学校の授業では味わうことの出来ない活動が期待できる。ワークショップが一過性の楽しい体験で終わるのでなく、土には様々な色があることを発見し、例えば学校に戻って次に写生をした時に地面を着色する際、絵の具の茶色をそのまま塗るだけでよいのだろうかという疑問を持つこともあるだろう。樹木や葉にしても自然の色は人工的に作られた絵の具では混色などの工夫をしないと表現できないと気付くことは重要である。ともすると直ぐに結果を求めてしまう教育において規制の造形活動にとらわれない伸び伸びした活動は幼児期のみならず大切な内容である。小学校では全学年で造形遊びが導入されて久しいがこの様な基礎的感覚教育には造形の本質が秘められている。またアボリジニの美術に見られる様に地域や時間を越えて、先人の作業との共通性も認められ、閉塞した現代美術の現状にも一石を投ずることになるに違いない。